

研推だよりNo.25



令和4年
12月18日
研究推進部会

今年度最後のA授業！松澤先生ありがとうございました！

火曜日は今年度4回目の話題提案授業でした。中学年分科会から松澤先生が国語の説明文の学習をしてくださいました。

「Word」を用いてリーフレットの分掌を作成する時間でした。授業を参観する前は、ワードでまとめるのは少し難しいのではないかと感じていましたが、子供たちはみんなとても上手に構成メモを参考にしながら書いている姿が印象的でした。成績前のお忙しい中、授業を提案してくださった中学年分科会の先生方、そして松澤先生、本当にありがとうございました！



1人1人がじっくりと書いていく
真剣さが素敵でした！

1 第4回研究全体会報告（記録：升田）

1 校長挨拶

本日も石出勉先生にお越しいただきました。授業について子供たちについて、研究について御指導いただけただらと思います。

2 分科会提案

指導案にて確認

3 授業者自評

Wordに慣れるようにしていったのは、二週間前。Wordの良さは書き直ししやすい、替え行をしなくてよい。学習を進めていく上で、書いた方が速いと感じる子がいた。最終的には、まとめの仕方を自分で選べるようにしていけるといいのかと思う。図書の本から一つ選ぶようにしたのが良かった。事例と理由を書く経験を何度かするとより詳しく説明した文章が書けるようになって感じた。

4 全体協議

	思考	表現	その他
成果	<ul style="list-style-type: none">・組み立てメモとWordを二つの画面を活用して文章を書いている子がいた。・図書資料を絞ったことで学習に取り組みやすくなった。図書の選定や内容が適切だと思う。・ワードを使いこなしている子が多かった。		

質問	<ul style="list-style-type: none"> ・発表児童の文章をテレビに映して、共有するといいいのではないかと思った。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモを手書きで書く児童もいたのか→5人くらいいた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを使うことで個人差は埋まるのか広がるのか ・チェックポイントが多い理由
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合う場面で、事例や理由などのみにチェックポイントを絞るといい。 ・画像転送の機能を使って、視覚的に考えやすくするのもいい。 ・思考の跡(過程)が消えてしまうのでは。 →思考の足跡が見られるようにしていくといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組み立てメモは、ノートや手作業の方がよいのではないか。 ・ペアの話し合いの時間は、結果を分かる形にするとうい。 ・文章を書いたり組み立てたりするのが苦手な児童には、もうすこし簡単に書けるような話型や見本があると思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何に対して、苦手意識があるのかを認識する。(助けを求めるのが苦手な子に向けて使うのがいい) ・いつか、自分が書きたい文章があった時のために使えるよい。

5 指導・講評 (講師：東京女子大学 准教授 石出勉先生)

ICTを活用した豊かな表現力の育成

本日の授業から、目的意識をもって取り組んでいた。やることが明確だった。ペアになり良さを伝え合う→アドバイス→修正するという活動

Wordの使い方をまだ分かっていないところがあった。タイピングがよくできる子たちなので、編集の仕方を教えてもよかった。

ICTが本当に必要な取り組みなのか今一度、検討するほうが良い。

使い方を理解したら、それを電子データでないといけない課題で行っていくといい。

電子データがいいのか、紙で書いていくのがいいのか、子供たちが考えて取り組んでいけるとよい。

○「思考の跡が消えてしまうのではないか。」については、途中でもよいのでPDFにして保存しておく。それを友達と共有して、良さを伝え合ったり、アドバイスをし合ったりすることができる。

○「ICTで個人差は埋まるのか」については、分からないところできないところは切り分けて、道具としてICTを活用していくことがいい。

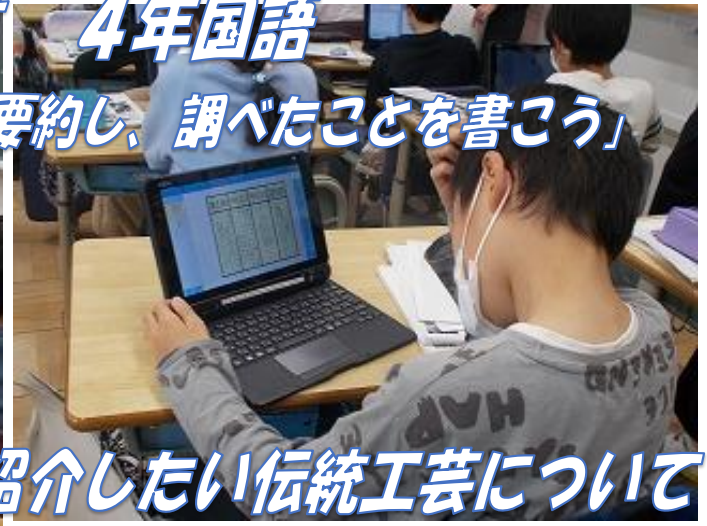
○「苦手意識がある子」について、苦手な子も手が届きそうなできそうな課題を設定する。

学習者自身が、どんなことが苦手で何が必要なのか自分で調べて学んでいける子、学びの自己調整ができる子を育てていけるとよいのではないか。自分なりの方法で試行錯誤して考えていける活動を提示して、ICTを道具として学習を深めていけるとよいのではないか。そして、学級の学習のベースのラインが上がるように、学習の場面でICTを活用していく。

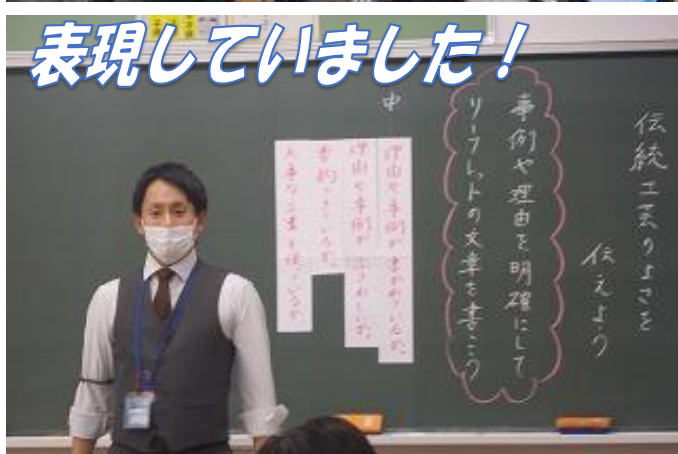
使いたいときに使いたい機能を使える→個別最適な活用
仲間と共有、間違えてもよい→共同的な学び

今年度最後のA授業 4年国語

「中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう」



Word を上手に活用して、紹介したい伝統工芸について表現していました！



ペアで見合いながらフラッシュアップしていく場面でも

Word の読みやすさが生きていたと思います！



松澤先生、中学年分科会の先生方、お忙しいところ本当にありがとうございました！

